



主題名 生命の大切さ、人間の尊厳

教材名 明日もまた生きていこう

人権学習の視点 普遍的な視点「生命や人間の尊厳」

主題・教材について がんとの闘病生活を送りながら、夢を追い続け、強く生き抜いた横山友美佳さんの生き方を通して、生命の大切さや人間の尊厳について考えさせたい。

ねらい 筆者の生き方を通して生命の大切さに気付く。

本時の展開 (1/2時間目)

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	横山友美佳さんを知っていますか。				
	○横山友美佳選手の生前の活躍について大まかな紹介をする。	一斉	○横山友美佳選手についての紹介を聞く。	○本や横山選手の写真などを見せて筆者の活躍している姿を伝える。 ○本などから友美佳さんの闘病生活の様子を紹介し、資料内容について理解を深める。	本や横山選手の写真など
展開	友美佳さんの気持ちを読み取ろう。				
	○友美佳さんの気持ちを読み取らせる。 ○感想を書かせる。	個別 一斉 個別	○「明日もまた生きていこう」を読む。 ○印象に残っている文章や言葉を紹介し合う。 ○本文についての感想を書く。	○友美佳さんの気持ちに寄り添いながら読ませる。(筆者の思いが表れている文章に傍線を引かせる等) ○感想をすぐに書かせてもよいが、印象に残った部分を紹介し合うことで書きやすくなる生徒もある。 ○印象に残っている文章や筆者の心情について自己の考えや感動をまとめさせる。	資料集「明日もまた生きていこう」 感想用紙
まとめ	○感想を交流させる。 ○資料「親友・木村沙織からの最後の手紙」を読ませ、次時へつなぐ。	一斉 (グループ)	○印象的な文章や感想を交流する。 ○「親友・木村沙織からの最後の手紙」を読む。	○印象的な文章をあげ、自己の考えや感想を述べさせる。 ○教師の感想を述べ、次時にも「命」をテーマとして学習を続けることを告げる。 ○「親友・木村沙織からの最後の手紙」を読ませることにより、「命の尊さ」や「生きること」についての考えを深めさせておく。	資料集「親友・木村沙織からの最後の手紙」

評価 筆者の生き方を通して生命の大切さについて気付くことができたか。

ねらい

筆者の生き方を通して生命の大切さについて理解を深め、一人一人がかけがえのない人間であるという認識を培う。

本時の展開

(2/2時間目)

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○前時の感想を交流させる。	一斉	○前時の感想を交流する。	○様々な感想を紹介する。 ○本時は「生命の大切さと人間の尊厳」について考えを深めていく時間であることを理解させる。	前時の感想文
展	○再度、資料を読ませ、感想を深める。 ○友美佳さんの気持ちについて考えさせる。	一斉 個別	○資料を読む。 ○がんを宣告された時の友美佳さんの気持ちについて考える。	○友美佳さんの気持ちに寄り添いながら読ませる。 ○バレーボールへの思いと闘病生活への不安、そして、『命』への思いに整理して考えさせる。	資料集 「明日もまた生きていこう」
		一斉	○「うん」とうなずいた友美佳さんの気持ちを考え、意見を交流する。	○うなずきはしたものの、まだ気持ちの上では理解も納得もできなかった友美佳さんの状況を読み取らせたい。	
開					
	○「すべてのこと後悔が残らないように」の資料を読ませ、懸命に生きようとする友美佳さんの思いを読み取らせる。	一斉	○「すべてのこと後悔が残らないように」の気持ちについて考える。	○友美佳さんの生き方と生命の大切さについて、自己の生活と結び付けながら考えさせる。	資料集 「すべてのこと後悔が残らないように」
まとめ	○感想を書かせる。	個別	○「命」をテーマにして自己の生活を振り返り、感想文を書く。	○自分の学校生活や身の回りの生活の様子について振り返りながら書かせる。 ○「友美佳さんへの手紙」を書かせてもよい。	感想用紙

<留意点> 小児がん等の治療を受けている生徒もいる。がんは、早期発見・早期治療によって治癒する病気であることを確認しておくこと。

評価

筆者の生き方を通して生命の大切さについて理解を深め、一人一人がかけがえのない人間であるという認識を培うことができたか。



「明日もまた生きていこう」 十八歳でがん宣告を受けた私 横山友美佳(よこやま・ゆみか)

■作者プロフィール

1987年3月2日、北京で生まれる。小学校より体力強化のためにバレーボールを始める。中学校時代からオリンピック有望選手に選ばれるなど全国区で活躍。下北沢成徳高等学校入学後は1年時に春の高校バレーで、準優勝。2年時に、全国シニア登録選手として、ワールドグランプリに出演。その後、3月にがんが発症する。闘病しながら早稲田大学教育学部に入学生も、再発のため、6ヶ月で自主退学。2008年4月17日、21歳で永眠。